
ミニ物語～ほたるこい～

凧夜 流歌

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ミニ物語〜ほたるこい〜

【Nコード】

N7586M

【作者名】

風夜 流歌

【あらすじ】

小さい頃良く歌ったあの童謡。そこにはあまり知られていない深い意味が込められていた。

（前書き）

童謡に深い意味があっても小説自体が深くなかったら意味ねえよな・
・。

ほうほうほたる来い
あっちの水は苦いぞ
こっちの水は甘いぞ
ほうほうほたる来い

気付いたら知らないところにいた。
目の前には大きく深そうな川があってその奥には目一杯の花畑が広がっている。

「ここは…?」

——ほ～ほ～ほ～たるこい——
「?」

——あっちのみずはにがいぞ——

「これは蛭来い?…どこから」

——こっちのみずはあまいぞ——

「たしか、この童謡って…」

——ほ～ほ～ほ～たるこい——
「声は…後ろから…?」

僕は回れ右をして声の出元を探して歩きだした。

ほうほうほたる来い
あっちの水は苦いぞ
こっちの水は甘いぞ
ほうほうほたる来い

蚩、蚩、もどつて来い
黄泉の世界は苦いだけ
現世の世界はまだ甘い
蚩、蚩、もどつて来い

（後書き）

この間初めて知った「ほたるこい」の童謡に込められた意味。

この歌はあつちに行つてしまった魂を呼び寄せる歌だそうです。本当かどうかは知りません。

たまにあるんですね、寿命が尽きていない人が間違つて逝つてしまふこと……。そういう時は歌ってみたら戻つてこれるかも……？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7586m/>

ミニ物語～ほたるこい～

2010年11月5日19時16分発行